

単元名	器械・器具を使つての運動遊び(跳び箱を使った運動遊び)	配当時間	5 時間
単元の目標	(1) 跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ折りをすることができる。 (2) 跳び箱を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。		

標準的な展開例

02100205_001

【準備等】跳び箱、マット、平均台、踏み切り板、学習カード、動物を描いた画用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 ジャングル探検の学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★グループでジャングル探検に出かけ、新しいジャングル遊びに挑戦しよう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し、役割を分担する。 <p>○動物走りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンガルー（両足跳び） ・チーター（手足走り） ・アザラシ（アザラシ歩き） ・うさぎ（両手両足跳び）など <p>○ジャングルを回って試しの運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とびざるの岩（跳び乗り・跳び下り） ・ピラニアの沼（踏み越し跳び） ・ゾウの背中（支持でまたぎ乗り、またぎ下り） ・谷越え（平均台遊び） ・滝へジャンプ（助木から）など <p>3～5 ジャングル探検をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物走りリレー遊びをする。 ○ジャングル探検を楽しむ。 ・それぞれの場で教師や友達の動きをまねする。 ・グループで回りながら、場を利用してできる遊びを行う。 ○新しいジャングル遊びに挑戦する。 ・支持で跳び乗り→跳び下り→両足着地 ・踏み越し跳び→1 / 2 ひねり→両足着地 ・横跳び越し ・開脚跳び越しなど ○発表をする。 ・新しいジャングル遊びを発表する。 ・発表されたジャングル遊びをする。 ○反省し、まとめる。 ・できばえ、課題、グループの協力など ○第5時は単元のまとめもする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館をジャングルに見立て、猛獣や川や岩を跳び越えて探検することを知らせ、意欲を高める。 ・3～4人の少人数グループを編成し、器具の出し入れの分担をしておく。 ・前のめりの姿勢から跳び越す感覚を養えるような動物歩きをさせる。 ・児童のアイデアを取り入れながら、両足踏み切りや両手支えなどの動きを行わせる。 ・事前にピラニアやゾウなどを描いた画用紙を器具や箱に貼って準備しておくでジャングルの雰囲気が出る。 ・器具の近くにどんな運動に挑戦するか、図示しておくで分かりやすい。 ・第1～2時に行った動物走りをグループ対抗で競走させる。 ・スタート地点やルートはグループで決めさせてもよい。 ・児童がよく知っている3分程度の曲を流し、曲が流れている間にジャングルを探検させる <p>【評】グループで仲よくジャングル探検をする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の中から出てきたジャングル遊びや教師が紹介したジャングル遊びの中から、やってみたい遊びを行わせる。 <p>【評】新しいジャングル遊びに挑戦する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表された技の中からやってみたい技を選んで行わせる。 <p>【評】発表を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できばえを話し合い、学習カードに自己評価させる。

【備 考】

跳び箱を使った運動遊びでは、まず跳び乗ったり跳び下りたり、跳び越えたりすることの面白さを味わわせる。跳び箱上で楽しくいろいろな動きをする中で、助走→踏み切り→着手→着地といった一連の動きを身に付けさせながら、動きのリズムやタイミングを体で感じ取ることが、低学年では大切である。また、単元を通して準備運動の中で馬跳びやタイヤ跳びに取り組み、両手で支持してまたぎ越すことをさせていくことも大切であり、その一連の動きを中学年の技の追求へ発展させる。

<運動が苦手な児童への配慮の例>

- ・高さを低くしたり、跳び箱の手前に台を置いて跳び乗りやすくしたりして、手で支えたり、跳んだりする動きが身に付くように場を設定する。
- ・馬跳びやタイヤ跳びが苦手な児童には、床でうさぎ跳びやかえるの足打ち、かえるの逆立ちなどを行い、手で支えたり、跳んだりする動きが身に付くようにする。